学校だより第１０号

稲浜通信

千葉市立稲浜中学校
千葉市美浜区稲毛海岸２－３－３
TEL ０４３－２４７－８５００
令和２年８月２４日発行

変わらない挨拶の大切さ

校長　川﨑　康範

短い夏休みが終わりました。何か一つでも記憶に残る事や経験ができたでしょうか。今も同じですが、TV や新聞紙上では相変わらず新型コロナウイルス感染拡大についての話題が多く見られています。それに加えて熱中症警戒アラートが出される酷暑の中、やはり我慢と忍耐が求められる１６日間だったのではないでしょうか。これから再開される学校生活についても、やはり油断せずに新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながらも、可能な限り生徒の皆さんが充実した学校生活を送ることができるように努めていきたいと思います。

さて、私は校長として生徒に社会で通用する挨拶ができる生徒に育ってほしいと日頃から考えています。校訓の一つにも「誠実：思いやりの心を持ち、さわやかな挨拶のできる生徒」と示されています。毎朝、校門で挨拶をしながら生徒を迎えるのは、このことに対する私なりの具体的な取り組みの一つです。生徒に元気に「おはようございます。」と挨拶をされると一日の気分も高揚してきます。しかし、生徒の中には私から「今、校長先生からおはようございますと言いましたが、挨拶できましたか。」と問いかけられる生徒がいます。決まって、誰もが「はい、挨拶しました。」と答えます。私も稲浜中学校の生徒の中に挨拶をしなくてもよいと考えている生徒は一人もいないと思います。では、なぜ校長がそのような問いかけをする生徒がいるのでしょうか。次の点が考えられます。

１、声が小さく挨拶が伝わらない。今は、マスクをしているのからなおさらです。
２、相手の目を見て挨拶しないため挨拶が伝わらない。
３、挨拶をされたら返すことは出来ても、自分から挨拶できない。

また、私が部活動の練習試合や大会の応援に行っても、本校の生徒たちは私に挨拶する生徒は少ないのが現実です。部長気を聞かせて「気を付け。礼！」と号令をかければ、全員が挨拶できるのですが、それも多くありません。それよりも顔を見たときに自然と「おはようございます。」、「今日は。」と言われる方が私は嬉しくなります。部活動でスポーツセンター、公園体育館、他校の会場を借りるときなど、お世話になる役員の方、対戦チームの選手、顧問の先生に挨拶ができているか心配になります。

８月２日（日）に幸一中で行われた、バスケットボール部３年生最後の交流試合が行われました。試合後に、私がベンチに行ったら選手達が自然と私の周りに集まり、自分たちから「ありがとうございました。」と言いながら目を潤ませている選手もいたのには、私も心に響くものがありました。また、応援に行きたくなりました。

◇ 気持ち良い挨拶のための３つのカギ ◇
1，微笑む　2，相手の目を見る　3，伝わるような声で言う（学校の中では会釈でも良いですね。）

昨年度の学校評価で生徒と教員の評価の差が大きい項目に「生徒は、礼儀正しく、気持ちの良い挨拶をしている。」があります。その差は 0.47 ポイントあります。4 段階評価なのでこの差は大きいものがあります。今年度の前期に取った教員だけの評価にも同じような傾向があります。それを読み取ると生徒達の挨拶は改善されていない＝教師が結果を検証し、工夫して稲浜中学校の生徒が社会で通用するような挨拶ができるためのアプローチができていないこが見て取れます。この点については、校長として真摯に反省し、校訓にある「誠実：思いやりの心を持ち、さわやかな挨拶のできる生徒」に近づけるように、私たち教員の意識も改善し、今年度の評価に反映できるように、生徒達に接していきたいと考えています。ご家庭でも、挨拶について話題にしていただけると良いと思います。よろしくお願いいたします。

３．学習支援員の渡邉先生の勤務について

８月２７日（木）から学習支援員の渡邉　美紀先生が勤務いたします。週４日（月・火・木・金）の勤務となります。1 年生の数学、3 年生の数学の授業に T.T として学習支援を行ってくれます。授業中に聞きたいことがあるときは遠慮なく質問してみてください。勤務時間の都合上２年生の授業には、係わりませんが途中で変更がある場合もあります。よろしくお願いいたします。